

# あなたと市議会

9月 定例会  
No. 64 12月  
令和2年10月15日号  
6月 3月



ありがとう 睦合小学校

# 学びの環境をく小中学校にエアコン設置改善

## 市立小中学校普通教室に エアコン設置へ

**背景と提案理由**  
これまで市は設置に消極的

国は平成30年11月、児童生徒等の熱中症対策として各学級への空調設置を支援するため、1年限りの特例措置として「冷房設備対応臨時特例交付金」を創設しました。これまで市では、

●図書室等児童生徒が共有できる教室への導入と、校務員室への整備を段階的に行うこと  
●今後の維持管理費を含め、膨大な財政負担が生じること

から、普通教室にはエアコンを設置せず、国の交付金申請も行わない方針を掲げていました。

### 常態化する夏の猛暑を心配する議会の指摘、市民の声

議会としては、児童生徒が校内で大半の時間を過ごす普通教室へのエアコン設置は全国的な流れとなっており、近隣の市町村でも整備が進んでいることから、議員の一般質問や委員会審査等を通じて一丸となつて

設置を求めてきました。

市としては「子どもたちに我慢させることも大切だ」とする方針もあったことから、議会との議論は平行線でした。そのような中、7月には保護者の立場から横手市PTA連合会より要望書が提出されました。

### 小中学校における猛暑対策への要望書

●近年の夏季における気温上昇から、県内の高校では3年生の教室を優先的にエアコンの設置が進められている。

●市内小中学校の普通教室にエアコンは無く、校舎内の気温上昇による熱中症発生の恐れもあることから、児童生徒の教育環境に対し日頃より保護者からエアコン設置を求める意見がある。

●横手市の将来を担う子どもたちが、毎日元気に健康的な日々が学校生活を送れるよう、早期に各学校の教室へエアコンの設置を要望する。

横手市PTA連合会

9月定例議会は、8月24日から9月17日までの日程で開催されました。議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。(奥山 豊和)

### エアコン設置へ急ぎよ方針転換 国の新型コロナ交付金を活用

この度、新型コロナウイルス感染症に対する3密対策などの実施方針を受け、急ぎよ市から新たな方向性が示されました。「施設の空間利用を最適化し、快適性・生産性を高めるための投資」の一環として、各小中学校普通教室にエアコンを設置し、安全で安心な状況下で学習に集中できる環境を整えていくこととしています。

また、災害発生時は普通教室を避難所として活用することで、感染症対策やプライバシー保護に配慮したスペースを確保することが可能となります。

### 【設置の提案概要】

- 20小中学校311普通教室に設置
- 設置費や維持管理費の負担が少ない家庭用エアコンを設置
- 災害避難時における付加機能として、各中学校区に1カ所は、発電機能があるガスヒートポンプエアコンを設置
- 令和3年度中の設置完了(予定)

### 審のポイント！

●高額な工事費と維持管理費の積算根拠、防災の視点について

●災害対応を理由に、6校にのみ高額なガスヒートポンプエアコンを導入する理由が明確でない。避難所に格差を生むことにならないか。まだ設置場所や台数が決まってい

ない中で、積算した維持管理費に正確性はあるのか。  
●10〜15年後の更新を想定したトータルコストを比較し、最小の予算で最大の効率を上げるために内容を精査すべき。

現在、市が想定する工事費・維持費		
	工事費・設計費	維持費(年)
ガスヒートポンプエアコン(115教室)	4億2199万3000円	1580万円
家庭用エアコン(196教室)	5億1640万4000円	2080万円
計	9億3839万7000円	3660万円

### 総務文教常任委員会での主な質疑

市から、業務用電気エアコン・ガスエアコン、家庭用エアコンを15年使用した場合の費用負担比較が示され、詳細な審査を行いました。

●危険管理上の理由からガスヒートポンプエアコンを設置するのであれば、8地域局単位で設置しなければバランスが悪いのではないか。

●停電を伴う災害時にも冷暖房を使用できる避難所を確保する観点で検討した。当初、横手地域・南部・西部の3カ所へ設置することを想定したが、人口の集中なども考慮し、限られた予算の中で6中学校区への整備を決定した。

●限られた予算とは誰が決めるのか。全市を見渡し市民の安全安心のために必要であれば、一般財源で捻出する方法もあるのではないか。

●新型コロナ交付金を学校の空調設備のために活用するわけにもいかず、市全体の政策を検討する中で、財政的なバランスも踏まえて判断した。

●電源確保の観点で、ソーラーパネルが設置されている学校以外にガスヒートポンプエアコンを設置する考えもあるのではないか。

●太陽光発電は、災害時の指揮命令系統を維持するために職員室等の電源を確保するのが目的である。

### 基本的な、ガスヒートポンプエアコンは冷房のみで暖房には使用しないとの説明だったが、効率の良い暖房こそガスヒートポンプエアコンの強みであるとの指摘もある。学校の形状等によっては、灯油を使用するよりも有利な場合があると思つが、検討の余地はあるのか。

●現在使用している灯油とガスを比較した場合、灯油の方が安価であると仮定しての提案だった。燃料単価の変動もあるため、ガスヒートポンプエアコンの方が有利だと判断されれば、暖房としても大いに活用したいと考えている。

●3カ所の普通教室のうち、ガスヒートポンプエアコン15教室、家庭用エアコン196教室という計画は、動かしようがないのか。

●今後、詳細設計を行っていく段階で、予算の範囲内で変更の可能性はある。

●設計で変更が可能であれば、6中学校区ではなく8地域に整備することに検討できないか。

●設計を検討する中で、可能な限り増やしたい。ただし、8地域に設置するとなれば今回の予算額では不足する可能性がある。議会から、場合によっては予算の追加も検討すべきとの意見があったので、前向きに検討する。

### 議会の指摘を受けての柔軟な姿勢を評価

●議員より賛成の立場で、議会から再三求めていた、小中学校普通教室に對するエアコン設置に舵を切ってもらったことは大変ありがたく思っている。質疑の中で、ガスヒートポンプエアコンの設置は、予算を含め柔軟に検討するとの前向きな答弁があったことは率直に評価したいとの議論がありました。

●エアコン設置の予算は成立し、来夏までの整備に向け、今後詳細な設計・工事が行われることとなります。



小中学生の皆さんからは、議会見学や意見交換などの場で「教室にエアコンをつけてほしい」という声がたくさんありました。猛暑の中、子どもたちの体調を心配する保護者の皆様の切実な要望もあり、市民と私たち議会が一体となって行動したことで、エアコン設置に向け市の方針が大きく転換されるきっかけになったものと思います。よかったですね！

会議資料と審議結果はこちらからご覧いただけます。





### 厚生常任委員会

## 憩いの場でもある敬老会 来年度は開催に向け検討を

横浜市議会ホームページ厚生常任委員会のページをご覧ください。



さまざまな催しもあり、開催を楽しみにしている人も多い敬老会

◆令和2年度横浜市一般会計補正予算(第9号)

**問** 敬老会が中止されることになったが、延期や小さい規模での開催などは検討したのか。

**答** 小さい規模での開催やコロナ対策としての開催も検討したが、敬老会をバックアップしている婦人会や老人クラブの若手の方々からは、リスクが大きすぎるので開催を見送ってほしいとの声があり、中止という判断になった。来年度に向けて、バックアップされる方々にヒアリングを実施しており、その意見を参考に事業を検討したい。

**問** 冬季感染予防対策事業では、いかにインフルエンザ予防接種の接種率を高めるかがポイントだ。県内における予防接種費用に対する助成の状況はどのようになっているか。

**答** 県の調査によると、助成を実施するのは、現在のところ県内13市のうち、横浜市にかほ市となっている。

◆令和2年度横浜市一般会計補正予算(第8号)

**問** 民生児童委員の成り手不足について、どのような対策をしているか。

### 総務文教常任委員会

## 「可決すべきもの」とするも 制度設計・将来展望の 甘さを指摘

横浜市議会ホームページ総務文教常任委員会のページをご覧ください。



十文字文化センター、幸福会館の機能を集約して11月にオープン  
十文字地域多目的総合施設

◆令和2年度横浜市一般会計補正予算(第9号)

**問** スマートフォン決済ポイント還元事業の目的は、地元資本の中小店舗の売り上げ増加、キャッシュレス文化の定着か。

**答** 新しい生活様式に対応するためのキャッシュレス文化推進が大きな目的だが、経済対策も意図している。委員より、「効果に疑問がある。1億円を投入する事業には結果責任が伴う。理由付けをもう少ししっかりしてほしい」との意見があった。

**問** 横手駅東口新公益施設運営関連アドバイザリー事業で、改めて専門家にアドバイスを依頼する理由は何か。

**答** 公共空間での利用者の感染リスクを減らすため、設備や備品の配置など、施設全体の運営方法等についてさまざまなアドバイスを依頼する。

**問** 令和5年の施設オープン時には新型コロナウイルスの状況がどうなっているか分からないが、どう考えるのか。

**答** コロナ禍を経験して初めての建設となる公共施設であり、市の知見だけでは対応が難しい。得られた成果は、他の施設建設や運営の参考にもなり得ると考えている。

委員より賛成の立場で、「今補正予算は制度設計や目的が曖昧なものが見えなかった。東口再開発に関しては、民間による再開発であり、関係者間の連携を取りながら進めていきたい」との討論があった。

起立採決の結果、起立全員により可決すべきものと決定した。

◆横浜市公告式条例等の一部改正

**問** 十文字文化センター、幸福会館の機能の移転について、地域住民や利用者への説明はどのように行ったのか。

**答** 説明会を30回ほど開催し、建築スケジュールや機能について説明した。既存施設はかなり老朽化していることもあり、廃止については受け入れていただいたものと考えている。

**問** 文化センターのホール機能廃止については、新施設の多目的スペース設置が決定した段階で地域にも理解されたと解釈していたが、ホール機能を新たに建設する可能性もあるのか。

**答** ホールと体育館機能をどうするか明確な結論を出したわけではない。民間のアイデアを広く募集するサウンディング型市場調査を実施し、市としての方向性を判断を持たずに、さまざまな意見を頂戴して検討する。

### しらとり議員が解説します!

**冬季感染予防対策事業**とは  
インフルエンザの重篤化を予防し、市民の健康と医療の安定を図るために、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成するものです。

①対象者  
高校1年生相当～65歳未満の市民  
(65歳以上の方、妊婦の方、中学生までのお子さんは、これまで助成の対象となっています)

②対象医療機関  
市内の協力医療機関

**妊婦応援給付金**が支給されます。  
横浜市では、新型コロナウイルス感染症予防対策に留意しながら過ごしている妊婦の皆さまに、お腹にいる赤ちゃんお1人につき10万円を支給する制度ができました。対象となるのは、横浜市に住所を有する方で、次の①か②に該当する方です。

①令和2年4月27日時点でお腹に赤ちゃんがいる方  
②令和2年4月28日から令和3年3月31日の間に母子健康手帳の交付を受けた方

※詳しい内容については、市健康推進課または各地域局市民サービス課にお問い合わせください。

**問** 海外にいる人もマイナンバーを利用できるようにするのか。

**答** これまでは、海外に転出すると住民基本台帳から削除されていたが、今回のシステム改修により、海外にいる方もマイナンバーの利用や年金の現況届などについて、オンラインでの手続きが可能になる。将来的には在外投票ができるようになることを目指している。



審議する厚生常任委員会

委員より賛成の立場で、「懸案であった地域局庁舎改築により、市民の安心・安全の拠点としての機能強化が図られる。しかし、多目的総合施設への機能集約により、来年3月末で廃止される十文字文化センターのホール機能については、『今後サウンディング型市場調査において検討する』『市が新たに建設する可能性を残している』との方針は、判断を無責任に先送りし続けた事実を棚上げし、議会の指摘やFM計画の理念に反し、地域の皆さんと重ね上げた議論を後戻りさせるものだ。現実を見つめた持続可能な市政運営を求めたい」との討論があった。

起立採決の結果、起立全員により可決すべきものと決定した。

◆財産の取得について(横浜市立中学校タブレット端末整備)

**問** 基本パッケージにキーボードが含まれているが、どのような利用方法を想定しているのか

**答** キーボードで文字を入力するなど、基本的な操作を習得することが学習指導要領に明記されている。プレゼンテーションソフトで資料を作るなど、自分の考えや学習の成果をアウトプットする学びの充実につなげたい。

### 賛否が分かれた議案と審議結果

・この他の議案は全員賛成により可決されました。  
○：賛成 ●：反対 退：退席 ※播磨博一議長は採決に加わりません。  
※木村清貴議員は監査委員です。

案件名	会派・議員名	議決結果		認定		原案可決		不採択	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
新風の会	青山 豊	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 勝義	○	○	○	○	○	○	○	○
	奥山 豊和	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐藤 誠洋	●	○	○	○	○	○	○	○
	高橋 聖悟	○	○	○	○	○	○	○	○
	木村 清貴	退	退	○	○	○	○	○	○
市民の会	山形 健二	○	○	○	○	○	○	○	○
	大日向香輝	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原亀代嗣	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原 正志	○	○	○	○	○	○	○	○
さきがけ	齋藤 光司	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	○	○	○
	寿松木 孝	○	○	○	○	○	○	○	○
新政会	播磨 博一	-	-	-	-	-	-	-	-
	塩田 勉	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐々木喜一	○	○	○	○	○	○	○	○
	遠藤 忠裕	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	小野 正伸	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐藤 清春	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党	佐藤 忠久	○	○	○	○	○	○	○	○
	鈴木 勝雄	○	○	○	○	○	○	○	○
みらい	立身万千子	○	○	○	○	○	○	○	○
	土田百合子	○	○	○	○	○	○	○	○
新緑会	高橋 和樹	○	○	○	○	○	○	○	○
	本間 利博	○	○	○	○	○	○	○	○

#### 陳情の審査結果

不採択

○上下水道部経営管理課に於ける事務取扱の疑義についての調査・検証に関する陳情

継続審査

(有限会社横手清掃興業 代表取締役 菅原 潤司氏)  
○養豚場施設建設反対への協力についての陳情  
(横手市大屋寺内町内会 会長 山中 一博氏)

#### 7月臨時議会の概要

国の2次補正予算(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)の成立を受け、7月31日に臨時議会が開かれました。国事業の「ひとり親世帯への臨時給付金」の給付や、新型コロナに対応する病院・福祉施設従事者への慰労金の支給、地域経済活性化のための「プレミアム付商品券」を発行する補正予算案等について審査し、いずれも可決しました。

### 議案Pick Up

#### 横手市の「新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金活用事業」から

##### ■一般会計予算特別委員会へ修正案を提出

産業建設常任委員会での審査を経て、「道の駅十文字空調設備整備事業 7551万7000円」を削除する修正案が提出されました。

**提案理由** 経年劣化が激しい空調設備を発電付きガスヒートポンプエアコンに更新することで災害時の停電に対応でき、換気機能が向上し感染症対策を講じることができるとの説明だったが、道の駅にどのように避難するのか。新しく完成する十文字地域多目的総合施設を含め周辺の防災計画が示されていない中では、避難者には混乱の原因となる。また、1年以上前から不具合があったのであれば丁寧に検討し、将来のトータルコストを比較検討できる提案をするべき。今後の方向性を含め、市は説明不足だ。

**討論** 菅原恵悦委員、齋藤光司委員から、それぞれ修正案に反対、原案に賛成する討論がありました。

昨年から頻りに故障し一部のエアコンが使用できず、猛暑日が続く中お客様にご迷惑をおかけしているとの報告を受けている。また、部品の生産が終了しており、設置後13年が経過し劣化が激しいことから修理は難しい。道の駅十文字は年間100万人が訪れる施設で、経済効果、横手ファン獲得に大きく貢献している。指定管理施設の管理に関する協定書において市が修繕することになっていることから、国の交付金を活用し空調機能を強化する提案は、市として効率的な財政運営だ。

**採決** 賛成10、反対13(欠員1、議長・委員長を除く)で修正案は否決となり、原案が可決されました。

##### ■人権擁護委員候補者を推薦

向川 善雄氏(山内 区) 堀内 新一氏(横手 区)  
伊勢谷英子氏(大森 区) 小西 宏彦氏(雄物川 区)  
柿崎 明子氏(大森 区)

##### ■固定資産評価審査委員会委員を選任

高山 安雄氏(横手 区) 根本 聡氏(横手 区)  
宮川 秀雄氏(雄物川 区)

##### ■教育委員会委員を任命

佐々木 雅子氏(平鹿 区)

### 産業建設常任委員会

## 道の駅十文字の空調設備整備を含む補正予算は「否決すべきもの」に

横手市議会ホームページ産業建設常任委員会のページをご覧ください。



空調設備の整備が議論となった「道の駅十文字」

◆一般会計補正予算(第9号)  
道の駅十文字の空調設備は、いつ頃から壊れていて、更新計画はいつ頃からされていたのか。  
答 近年非常に故障が多くなってきている。現在採用している灯油ヒートポンプ式エアコンは生産が終了し、修理部品の調達に苦慮しており、財政課とも協議を重ねていた。  
問 新型コロナウイルス対策と今回の更新に関連性はあるのか。  
答 道の駅十文字は指定避難所となっており、停電時は冷暖房が使えず十分な換気ができなくなる。発電機能付きのガスヒートポンプ式エアコンを導入することで、停電時にも十分な室温調整をすることができ、感染症予防対策を講じることができる。  
問 年間のランニングコストや耐用年数から考えたトータルコストまでを計算したのか。  
答 イニシャルコストについては電気式も検討したが、電気設備に多額の投資が必要なため、最終的な工事費は大差ない。ランニングコストについては電気式の場合、基本料金が高額となる上、空調を使わない時期にも料金がかかるため、年間ではガ

式の方が安くなると考えるが、詳細な数値比較は行っていない。  
討論 反対 「採用予定のガスヒートポンプ式のほか、他の方式と比較したイニシャルコストとランニングコストの資料提示があつてほしいべきだ」  
賛成 「災害に対してはリスク分散が重要視されるべき。一時避難所として、いろいろな場面に対応できる備えをしておくことが必要だ」  
賛成 「故障時に部品を探すのに苦慮している状況を解決するために、地方創生臨時交付金を活用し整備していくことがいいと思う」  
起立採決の結果、出席者可同数となり、委員長裁決により否決すべきものと決定した。  
◆市営温泉施設特別会計補正予算 さくら荘の「コテージ」はこれまで合宿での利用が多かったが、新型コロナウイルスの影響で利用者数はどれくらい減っているのか。  
答 コテージの宿泊者数は昨年8月の305人に対し、今年8月は231人となっている。緊急事態宣言解除後は、コテージを指定して宿泊する方が増えている。



\*ワーケーションを推進するため、Wi-Fi等の設備改修が行われるさくら荘コテージ

◆養豚場施設建設反対への協力についての陳情  
「まだ建設に関する具体的な申請等については何一つなされていないので、判断をするのは尚早と思われる」との意見があり、継続審査とすることに決定した。  
◆上下水道部経営管理課における事務取り扱ひの疑義についての調査・検証に関する陳情  
陳情者が訴える疑義3点について、当局より聞き取りを行い、疑義がないことを確認した。  
起立採決の結果、賛成なしにより不採択すべきものと決定した。

産業建設常任委員 加藤勝義・鈴木勝雄・木村清貴・遠藤忠裕・高橋和樹・菅原正志・菅原恵悦・塩田 勉

# 健康・福祉・環境

## 公立保育所の現状と職員の処遇は

公立として残っている保育所はいくつあるのか。また、民営化が進むとそこで働く職員はその後どうなっていくのか。

**答弁** 公立保育所は、まずだ、川西、十文字、三重、さんないがあり、川西と十文字は来年度から民営化となる。保育士として働き続けたいという意向があれば、そのまま民間保育所への就職が考えられるし、一般事務として行政に残るといった選択肢も考えられる。

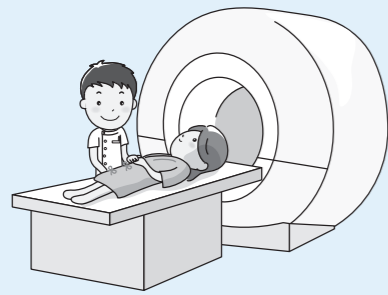


民営化が進む公立保育所  
働く職員の処遇にも丁寧な対応を

## 人間ドック受診者数の拡大は

市立病院で行っている人間ドックの評判が良い。受診できる人数を増やすことは検討できないか。

**答弁** 宿泊、日帰りともに人間ドックは人気があり、年度初めにはほぼ予約で埋まってしまう。医療機器の稼働状況やスタッフの関係から受診者数を増やすことは難しいが、今後は効率化を図り、少しずつ受診できる人数を増やしていきたい。



人気の高い市立病院の人間ドック  
毎年の受診で健康チェックを

## 老朽空き家への対策は

老朽空き家への対策は相談があってから対処するのか、それとも市が危険度を判断して対処するのか。

**答弁** 対処としては両方ある。解体する場合には30万円を上限に解体費用の補助を行っているが、空き家の数は減っていない。現在、空き家の予防等を主とした2期目の空き家等対策計画を策定中である。今後は、いかに空き家を発生させないかが重要と考えている。

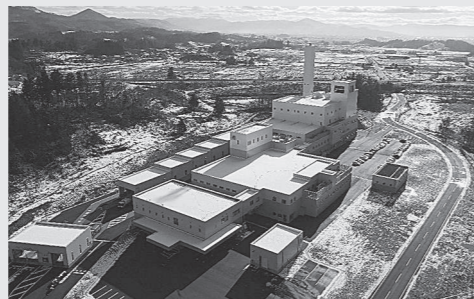


空き家を発生させない対策が今後の課題

## クリーンプラザの運営は

モニタリング調査はどのように行っているか。

**答弁** 平成28~30年度は専門業者が、昨年度からは市職員がモニタリングを行っている。その結果はクリーンプラザよこて環境保全委員会に報告し、議事録は市のホームページで公開している。今後大きな故障も考えられるため、どのようにしていくか検討したい。



資源循環型の最新鋭施設を持つ  
クリーンプラザよこて

公共施設の中には雨漏りなどしていても修繕されずにいる施設も多い。不用額を修繕する費用に充てるなど、もっと地域のために役立てて!

不用額が出そうになったら、内容を精査し補正予算を組んで、市民ニーズの高い事業を前倒しで行って!

**ひందり議員がズバツと指摘!**

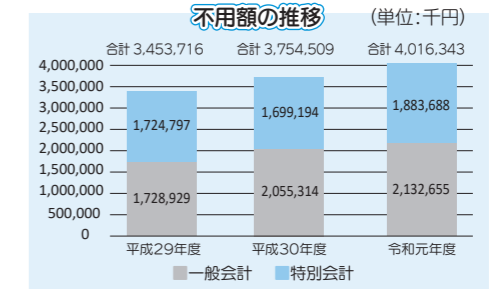


毎年5%の予算削減要求により、現場ではひっ迫し弾力的な事業運営ができなくなってしまっている。一律の予算削減はやめるべきでは?

## 反対討論

**鈴木勝雄議員** マイナス5%シーリングという緊縮財政がなされた結果、市民の要望になかなか応えることができない状況が年間を通して見受けられた。それにもかかわらず、予算現額に対する執行額は92.7%で、40億円もの大きな不用額が発生している。将来的に一層厳しい財政状況が予想される中で、今後は一律のマイナスシーリングではなく、一つ一つの事業を真剣に精査し、メリハリのある事業展開をするべきだ。

9月定例議会は「決算議会」と言われています。議長、議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会では、令和元年度の一般会計および特別会計、企業会計12件を審査し、全ての決算を認定しました。しかし、令和元年度の決算では、一般会計、特別会計を合わせ、40億円を超える額の不用額が出ています。議会では、適時的確な予算の計上と、より効率的な事務の執行を求めています。



## 総括質疑

**合併特例債の活用と財政の長期計画は**



寿松木孝委員

**Q** 合併特例債の発行上限を使い切るとして、**Q** だが、議会との合意形成が図られていない。計画なしに進んでいると感じるが、財政の長期見通しや財政計画はどのようになっているのか。  
**A** 合併特例債は有利な財源であり、市の利益につながる考えでの活用を検討している。合併特例債の発行期限が延長され、上限まで活用しても世代間負担は平準化できる。後期基本計画を作成しており、財政見通しや計画内容が分かる資料の作成を検討する。

**園芸振興拠点センターの成果と課題は**



菅原正志委員

**Q** 園芸振興拠点センターは多額の公費を投じて設置された。議会では附帯決議を付けた経緯もあり、しっかりと実績を上げてもらいたいが、まだ費用対効果は低い。これまでの成果と今後の課題は。  
**A** 6次産業化支援施設は昨年度345名の参加があった。6次産業化には生産・加工・販売の事業者のマッチングが課題であり、アドバイザー相談窓口を設置した。農業技術研修は11名の新規就農希望者が受講した。

**横手ファン獲得に向けた戦略について**



奥山豊和委員

**Q** よこてfun通信の発行などさまざまな事業に取り組んでいるが、どれだけ移住に結び付いているか把握しておらず、ふるさと納税寄附者に対する応援市民の登録は4分の1に止まっている実態。事業の運動がきいていないことを数字が示している。応援人口の切り口から事業を整理するべきでは。  
**A** 部局横断で、担当者がそれぞれの部署で熱意をもって取り組むことにより、相乗効果を生み出し、全体で横手市をPRしていきたい。

**残業が常態化する部署の勤務状況改善を**



加藤勝義委員

**Q** 働き方改革が行われているにもかかわらず、子育て支援課の多くの職員は残業が常態化し、最も多い職員は昨年度1054時間もの残業をしている。その要因をどう整理分析し、改善しているのか。  
**A** 子育て支援課では、通常業務に加え、幼児教育・保育の無償化の制度開始への対応を迫られたことなどが要因と考えている。今年度の定期人事異動で職員を1名増員し、係間の業務分担の見直しなどを行っており、引き続き適正な人員配置に努める。

# 総務・財政・教育・生涯学習・消防

# 農商工業・観光・土木・建築・上下水道

## 地域での活動に対する補助は

元気の出る地域づくり事業が再編され2年になるが、その後も各種補助金を使い切れていない。現状はどのようになっているか。

**答弁** 地域の団体が行うべきもの、地域局で行うべきもの、本庁で行うべきものに補助金を振り分けたが、廃止したものもある。地区会議や地区交流センターの自主的な活動において、地区の課題解決につながるような事業展開に活用していただけるとありがたい。



地区交流の拠点として活用されている福地コミュニティセンター

## 公共施設解体後の借地料は

公共施設を解体した後も借地料を払い続けている事例は解消に努めるとしているが、現在はどのようになっているか。

**答弁** 学校の跡地などがその事例に該当している。建物を解体し、使用しなくなった後は原状に戻して返還するとしているが、地権者との協議を進める中で原状に戻すことが困難であったり、価格交渉の点からもなかなか解消できていない。



今年度解体工事が始まった旧黒川小学校解体後も一部借地料が発生している

## 市営温泉3施設の状況は

さくら荘、ゆとりおん大雄、ゆっぶるの3施設について、昨年は民間譲渡に向けてどのような作業をしたのか。

**答弁** 土地の整理を進めたが、大人数の共有地があり、相続の状況を確認していた。ようやくこういった状況になっているのか見えた部分もあるが、まだ連絡や確認が取れない地権者もいる。それらの作業も合わせて行い、民間譲渡に向けて取り組みを進めている。



温泉施設は民間譲渡された後も市民に愛される施設とすることが重要

## インドネシアとの農業交流は

インドネシア農業交流支援事業は、新型コロナの影響で研修生の受け入れができない状態だが、今後の見通しはどうなっているか。

**答弁** 両国の交流自体ができない状況のため、インドネシア農業省や大使館の農業担当部門の責任者とオンライン会議を開き、事業継続の意向を確認した。その後、継続する旨の公文書を取り交わしており、研修受け入れのための準備は継続していきたい。



相互の発展に向けて交流事業を継続していくことに

## 学校給食で地産地消を

学校給食では地場産品を使用することが望ましいが使用率はどうか。また、園芸振興拠点センターを活用した食材の納入状況は。

**答弁** 昨年度の地場産品の使用率の目標は44%であったが49%となり、目標は達成した。園芸振興拠点センターではカット野菜を納入したほか、野菜の加工保存を試行し、細菌等の安全性検証を行った。いくつかの食材は、実際に給食材料として使用している。



地場産品を加工して有効活用給食ももっとおいしくなるね！

## 防災用備蓄の状況は

防災備蓄品主要19品目の整備率は100%達成したとのことだが、備蓄品の更新や、分散配置についてどのようにしているか。

**答弁** 使用期限がある食料品等は期限が切れる分を計画的に購入することとしており、期限が近づいたものは防災訓練などの際に活用している。分散配置については、各地域局を基本に孤立が想定される集落等に一定程度の備蓄品を配置し、災害に備えている。



災害に備え、どのように備蓄を分散配置するかも重要な要素

## 今後の水道事業は

料金回収率が4年連続で100%を切っており、水道料金を上げなければならない状況であると捉えるがどうか。

**答弁** 売っている値段よりも作るための経費がかかり増している状況がここ何年か続いている。早急に解消する必要があるが、今はまだ留保財源を使って経営している。料金改定は総合的に判断しながら、適切な時期に利用者の意見を聞いた上で実施する。



おいしく、安全な水道を守るためには相応のコストがかかっている

## 速やかな事業完了を

三枚橋地区の土地区画整理事業は令和7年の事業完了予定だが、換地処分終了後、速やかな事業完了を目指すべきではないか。

**答弁** 来年度、換地処分となる予定であり、その後、清算金の交付と徴収が行われるスケジュールとなっている。平成9年からの長い事業であり、地権者の代替わりなど不測の部分が多々あるため、実際には完了が少し延びる見込みとなってきている。



横手駅西口の発展に向け早期の事業完了が必要

# ココが聞きたい!



## 9名の議員が 市政を問う



9月1～3日には一般質問が行われ、9名の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

菅原 亀代嗣議員

技術職員の採用について

奥山 豊和議員

十文字庁舎周辺エリアについて

立身 万千子議員

PCR検査の拡充について

土田 百合子議員

「新たな日常」の構築について

本間 利博議員

森林資源の活用について

山形 健二議員

農地付き空き家の活用について

菅原 正志議員

横手市財産経営推進計画について

鈴木 勝雄議員

農家所得の向上について

齋藤 光司議員

十文字小通学路の安全対策について

QRコードを読み取ると、一般質問録画放送をご覧いただけます。

動画再生の手順

- ①スマートフォン、タブレット等でQRコードを読み取る
- ②一般質問のページが開いたらYouTubeを再生する



奥山 豊和 議員



**Q** 十文字文化センター閉鎖を市民は納得しているか

**A** 残してほしいという思いがあることを共有している

**問** 市民の皆様や企業の力をお借りしながら、行政や地域の課題解決にあたる視点が重要。官民連携の分野としては、資金や経営能力、技術力、ノウハウなどさまざまな資源があり、課題解決に向け最大限に生かして取り組んでいく。

**答** 市は、十文字庁舎周辺エリア全体の展望を示していない。文化



エリア全体のビジョンが示されず、広大な空き地が生まれる可能性がある十文字庁舎周辺

**問** まちづくりや公共施設再配置における官民連携、市民協働のあり方について、市の認識は。

**答** 市民の皆様や企業の力をお借りしながら、行政や地域の課題解決にあたる視点が重要。官民連携の分野としては、資金や経営能力、技術力、ノウハウなどさまざまな資源があり、課題解決に向け最大限に生かして取り組んでいく。

**問** 十文字第一小学校は指定避難所となつているが、仮に市場調査の結果利活用なしとなった場合、解体される。今後どうなるのか。

**答** 道の駅も避難所として活用。庁舎周辺エリアをどう開発するか考えており、合わせて検討する。新しい地域局庁舎ホールも使える。

**問** 横手体育館と横手市民会館は令和元年度前半に施設建設の実施可否を決定、十文字庁舎周辺エリアは、市場調査を実施した後、今年度中に活用案の検討に入るとしていたが、なぜ遅れているのか。

**答** 議会から、市民の声を直接聴く機会を設けてほしいとの要望を受け市民検討委員会を立ち上げた。必要な時間を確保し進めている。

**問** センターは来年3月末で閉鎖、令和4年度以降解体の方針はいつ決定し、市民は納得しているのか。

**答** 地域の方々や利用者にとって、継続してほしいという思いがいまだにあることは共有している。

**Q** 市独自にPCR検査の拡充を

**A** 完全予約制で対象者のみに実施

**問** PCR検査希望者で、かかりつけ医や保健所での検査対象外となった人に対し、検査の実施や費用負担補助など市独自の拡充はできないか。

**答** 仮設診療所は、既存の感染症指定病院や医療従事者の負担軽減を目的に開設したため、対象者以外は受診不可であり、費用の補助については考えていない。

**問** 国の緊急包括支援交付金を活用した児童福祉施設等へのコロナ禍対策事業支援について、市の施策はどのように進んでいるか。

**答** 施設での感染症対応力を底上げしつつ、継続的なサービス提供が可能となるよう各種支援を行うことを目的に、マスク等の備品に対する支援や、消毒・清掃を行った職員への超過勤務手当を支援する。

**問** 学校内の電磁波からの健康被害防止策を

**答** 学校の超過勤務手当を支援する。

**問** 現在の技術職員の職種と人数について伺う。

**答** 病院と消防等を含めた総職員1490名中、土木職は49名、建築職は10名いる。

**問** 横手市内の高校について

**答** 就職に直接役立つ知識や技能を習得できる専門学科を充実させることは必要だと考えている。県にも要望していく。

**問** (仮称)市立横手科学技術高校の創設について伺う。

**答** 計画はないが、専門教育を行う学科の設置を県に要望する。

**問** 市立病院について

**答** 前年比、横手病院は入院収益1億3414万円減少、外来収益

**問** GIGAスクール構想を実現するにあたり、学校内での電磁波の影響から子どもや教職員を守る方策を具体化できないか。

**答** 電波を発するアクセスポイントは教育委員会で集中管理するため、電波のオン・オフを切り替える運用はできない。端末を導入後、機器使用による健康アンケートを児童生徒へ実施していく。

**問** 国民健康保険加入世帯における18歳未満の均等割免除の提案について

**答** 他保健事業の対象年齢とのバランス、被保険者の加入状況をみながら実施する。

**問** その他の質問

・小中学校普通教室へのエアコン設置について

・オンライン診療について



児童センターなどではコロナ対策用備品の補充を待っている



立身 万千子 議員



菅原 亀代嗣 議員



**Q** 今年度の技術職員の採用人数は

**A** 建築・土木職計12名の募集に土木3名



技術職員不足の改善が望まれる

**問** 就職に直接役立つ知識や技能を習得できる専門学科を充実させることは必要だと考えている。県にも要望していく。

**問** (仮称)市立横手科学技術高校の創設について伺う。

**答** 計画はないが、専門教育を行う学科の設置を県に要望する。

**問** 市立病院について

**答** 前年比、横手病院は入院収益1億3414万円減少、外来収益5902万円減少。大森病院は入院収益2054万円増加、外来収益556万円減少した。

**問** 一泊人間ドック助成事業の対象年齢を、60歳になる年度から61歳になる年度に変更できないのか伺う。

**答** 他保健事業の対象年齢とのバランス、被保険者の加入状況をみながら実施する。

**問** その他の質問

・小中学校普通教室へのエアコン設置について

・オンライン診療について



土田 百合子 議員



### Q ポスト・コロナ時代の「新たな日常」の構築対策は

#### A キャッシュレス決済やデジタル手続きを進める

**問** デジタル技術を用いて生活を豊かにする、いわゆるデジタル・トランスフォーメーションをどのように進めるのか。

**答** デジタル・トランスフォーメーションの推進は重要と考えている。推進にあたっては「市民サービスの向上」と「行政の効率化」の二点で構想している。

**問** マイナンバーカードの普及加速についての考えを伺う。

**答** 一人当たり5千円のポイントが付与されるマイナンバーや、マイナンバーカードの健康保険証利用に期待している。

#### ●災害用の備蓄対策について

**問** 災害用の備蓄物資は各地域に分散して備蓄されているが、中心となる「災害用備蓄倉庫」の設置も必要と考えるがどうか。

**答** 物資運搬の時間短縮などが期待できるが、孤立の可能性のある

地区の避難所や集会所、各地域局にも備蓄品を分散配備し、迅速に対応できるように体制を整えている。

#### ●黒川公民館の屋根補修を早急に

**問** 大雨になるたびに施設のベンシール館、体育館で雨漏りが発生しているため、漏電火災が心配だ。

**答** 今年度の調査結果を踏まえ、適切に対処する。

#### ■その他の質問

・朝日が丘中央線の冠水対策を  
・コロナ禍での災害に備え、横手市防災ラジオの全戸配布を  
・災害発生時の避難所対策は



デジタル・トランスフォーメーションで行政サービスの向上・効率化を

### Q 森林資源の多面的活用は

#### A 森林整備に環境譲与税を効果的に活用する

**問** 自然環境については森林の役割は大きいですが、保全や整備の面で立ち遅れている。整備には多額の費用が掛かるが、昨年度から必要な地方財源を安定的に確保するために森林環境譲与税が交付されている。有効活用には、事業を行うための指針が必要と考えるが。

**答** 市では、経営や管理が行き届かなくなった森林整備を目的に森林管理体制作業事業を行っている。その他、木材利用促進事業、森林環境整備事業で譲与税の効果が市民に及びようとしている。また、基金にも積み立てるなどし、柔軟に有効活用することとしている。

**問** 多くの人工林は50年を超えて利用期を迎えているが、世界的に木材価格が落ち込んでいる。森林環境を整える観点が必要と考えるが、市の公共建造物への積極的な県産木材利用について伺う。



利用期を迎えた豊かな森林

**答** 木材活用は林業・木材産業の振興を図り、「循環型社会」実現の重要なテーマと認識している。関係各所と情報共有を密にし、木材の利用の推進に努める。

#### ●雪対策について

**問** これからの雪対策では市民・行政・事業所が一体で取り組む仕組みが重要。町内の雪押し場の確保に補助することで市民の協力が得やすくなるかと考えるがどうか。

**答** 地域全体で取り組む雪対策の一つとして、次期雪対策基本計画の参考としていく。



本間利博 議員



**問** 農地付き空き家は農家以外の方の取得は難しい。そのため、取得も処分もできずにいる農地付き空き家を活用できるように、対策を早急に検討するべきではないか。

**答** 農家以外の方も農地付き空き家を取得できるように、現在の空き家バンクに農地付き空き家も加え、空き家の活用を促進すべく準備を進めていきたい。

#### ●地域おこし協力隊の進捗は

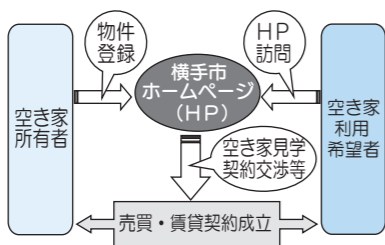
**問** 以前に同様の質問をしてから2年もの間検討してもアイデアが出ないのであれば、地域おこし協力隊に移住促進事業を任せるとはどうか。市外出身者の目線で横手の魅力も発信でき、観光推進にもつながるのではないかと。

**答** 市外出身者の目線からの意見は貴重だと思つ。いただいた意見を参考に取り組みたい。

**問** 休業している観光資源の活用を

**問** 横手市増田まんが美術館を核とした観光を考えるのであれば、釣りキチ三平の舞台で、作者の矢口高雄氏の出身地でもある狹半内地区にあり、現在休業している温泉施設「さわらび」「ゆーらん」は重要な観光資源だと考える。民間譲渡が完了するまでの間、市の運営で営業再開はしないのか。

**答** 「さわらび」については再度民間譲渡の取り組みを進め、観光宿泊拠点としての機能回復を目指していく。



横手市空き家バンクのイメージ

#### A できるだけ早く、年度内に実施する

### Q 農地付き空き家を活用する対策を早急に



山形 健二 議員





第9回

# 議会報告会・意見交換会

今年度も地区会議との共催により、地域にお住まいの皆さまから議員が直接お話しをお聴きする「議会報告会・意見交換会」を開催します。

意見交換会では、地域から出された課題などについて参加者同士でじっくりと話し合えるよう、小グループでの意見交換を行います。

たくさんのご来場をお待ちしています！



グループ単位だったので、すごく話しやすかった

話が盛り上がり、時間が足りなくらいだった

若い世代の人たちにもどんどん参加してほしい

初めて参加したが、気さくに意見交換ができた

## 私たちがおじゃまします！

### 1班



佐藤 誠洋 奥山 豊和 山形 健二  
小野 正伸 菅原 恵悦 立身 万千子

10/12(月) 18:00~	大雄交流研修館
10/14(水) 18:00~	前田公民館
10/15(木) 18:00~	大森コミュニティセンター
10/17(土) 14:00~	さかえ館
10/18(日) 17:00~	山内南郷コミュニティセンター
10/23(金) 18:00~	吉田地区生涯学習センター

### 2班



佐藤 忠久 齋藤 光司 大日向香輝  
遠藤 忠裕 高橋 和樹 土田百合子

10/13(火) 18:00~	大沢地区交流センター
10/14(水) 18:00~	福地コミュニティセンター
10/18(日) 15:00~	山内公民館(山内中央)
10/20(火) 18:00~	醍醐公民館
10/22(木) 18:00~	里見公民館

### 3班



寿松木 孝 高橋 聖悟 佐藤 清春  
鈴木 勝雄 菅原 正志 佐々木喜一

10/ 8(木) 18:30~	かまくら館
10/14(水) 18:00~	館合公民館
10/17(土) 14:00~	山内公民館(山内西)
10/19(月) 13:30~	川西公民館
10/21(水) 19:00~	浅舞公民館

### 4班



本間 利博 青山 豊 菅原亀代嗣  
木村 清貴 塩田 勉 加藤 勝義

10/12(月) 18:00~	金沢孔城館
10/13(火) 19:00~	サンサン横手
10/15(木) 18:30~	十文字庁舎
10/16(金) 18:30~	増田地区多目的研修センター
10/20(火) 18:30~	雄物川庁舎

お問い合わせ…横手市議会事務局 TEL 32-2535

※播磨博一議長は特定の班には属さず、オブザーバーとして参加します。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今後の状況などにより急きょ中止とする場合があります。

## JA多機能倉庫建設への協力支援を



鈴木勝雄 議員



### A JA倉庫建設に向け県と連携しサポートする

**問** JAでは農家の所得向上のため、水田農地をフル活用できる露地栽培を基として圃場整備事業と組み合わせ、地域一体での高収益作物を産地形成し、生産された作物を多機能低温倉庫に集約して高品質化を図るとしている。市としての協力、支援策は。

**答** 当市が目指す農地フル活用の取り組みに合致し、水稲及び園芸作物の振興、農家所得向上にもつながることから、事業の実施計画が策定されたら、JA倉庫建設に係わる補助事業の採択に向け、県と連携して取り組んでいく。

**問** 水田活用事業の向上について、これまで協議検討はどのようにされたか。

**答** 市の考え方に加え、JAをはじめとした水田農業再生協議会構成員からの意見を集約した。

**問** 園芸作物に対する助成と、稲



農作物の高品質化で農家の所得向上を

作に対する市独自の支援助成の拡充はどのようになっているか。

**答** 生産性や品質向上への支援を核に、事業継続や農地維持につながる市単独事業を実施している。

**問** 働き方改革について年5日以上の有給休暇取得が義務化された。取得できない職員がいる場合、市の罰則の内容はどのようなものか。

**答** 公営企業職員と会計年度任用職員に法律が適用され、違反した場合、使用者に対し労働者一人につき30万以下の罰金が科せられる。

## 十文字小学校通学路の安全対策は



齋藤光司 議員



### A 業者との話し合いは抜けていた

**問** 新小学校奥に旧雄平原木市場があり、毎日10台以上の大型車が学校前の市道を通る状況にある。当該事業所、保護者も強い不安をもっている。当該事業所とはどういった話し合いが持たれてきたのか。対策の手法、スケジュールはどのようにされたのか。

**答** 新小学校が中学校隣接地であったことで話し合いが抜けていた。今年度に入り、当該事業所と話し合いをもっている。児童生徒への安全教育の徹底を図ること、今後状況に応じて協議していくことなどを確認している。

**問** 来春の開校にあたり、通学路の安全策をどのように計画し、その進捗率はどれくらいか。特に国道13号横断の安全策は十分か。

**答** 国道13号沿いの歩道設備や交差点部分へのガードパイプの設備、横断歩道の再塗装、グリーン

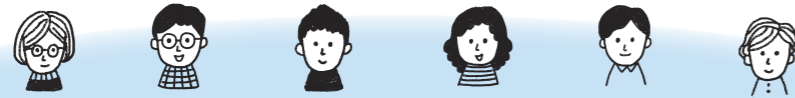


交通安全教室で交通ルールをしっかりと学んでいます

ベルト標示などの対策を進めている。ソフト面では、国道13号が交通量も多く特に横断に注意が必要なことから、第一小学校では、交通ルールを学びながら実際に歩く取り組みを行っており、除雪前と春休み期間中に登校訓練をする。また、教職員が現地確認し、保育所にも協力いただき入学前に安全教室を開催する予定である。

**■その他の質問**

- ・十文字地域で廃校となる4小学校の活用についてなど



# 横手市議会だよりモニターを募集しています

横手市議会では、議会だよりの一層の充実を図るとともに、開かれた議会を目指すため、「横手市議会だよりモニター」を募集しています。

## 業務内容

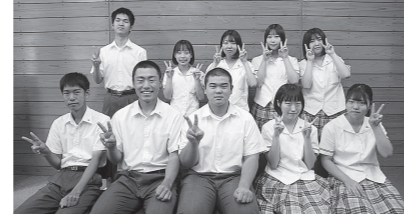
年4回発行される議会だよりを読んでいただき、アンケート調査などによりご意見をいただくほか、横手市議会だよりモニター連絡会議にご参加いただけます。

## 応募資格

- (1) ~ (2) の要件に該当する方
  - (1) 次のいずれかに該当する方
    - ・市内に住所を有する方
    - ・市内に事務所または事業所を有する方
    - ・市内に存する事務所または事業所に勤務する方
    - ・市内に存する学校に在学する方
    - ・市に対して納税義務を有する方
  - (2) 議会が行う広報・広聴活動に深い関心を持ち、公正な社会的見識を有する方
 

※国会議員又は地方議会議員、横手市職員はご応募いただけません。

私たちもモニターになりました。



雄物川高校生徒会の皆さん

## 募集人数

5名以内（サークルなどの団体を代表して代表者等からの申し込みも可能です）

## 任期

令和3年8月31日まで

## お申込み

横手市議会ホームページ（ページ番号 000025784）から応募フォームにてお申込みいただくか、申込書をダウンロードのうえ必要事項を記載いただき、横手市議会事務局（〒013-8601 横手市中央町8-2）までご提出ください。  
※必要事項の記載があれば任意の用紙でお申込みいただいてもかまいません。

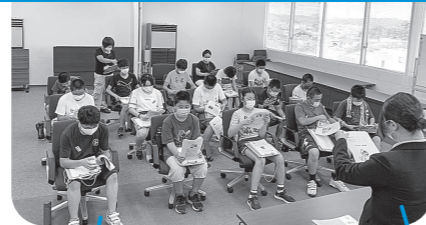


# 議場へようこそ

## 山内小学校6年生



9月3日(木)、山内小学校6年生15名の皆さんが、政治の仕組みや議会の役割に関心を持つことなどを目標に、校外学習の一環で市議会の一般質問を傍聴にいらっしゃいました。



議会を傍聴する前に、議会の仕組みなどについて説明を受けました。



あきと 高橋歩希人さん

一般質問の内容はちょっと難しかったけど、話し合いの仕方などは学級活動でも生かしていると思います。



れいと 中村 玲翔さん

議員の方たちは、全員タブレットを使って、最新の情報を確認・共有しながら話合っているのが分かりました。



しょうおん 藤田 翔音さん

公共施設についての一般質問を傍聴しました。雨漏りなどの修理など、直してほしいこともすくなく要望していました。

山内小学校の皆さんが一般質問を傍聴した模様は、10月26日放送の「もっと教えて！横手市議会」でもご紹介いたします。ぜひお聴きください。



# 放送200回を迎えました！

横手市議会FM番組「もっと教えて！横手市議会」



7月27日に番組放送200回記念企画を放送

横手市議会では、市議会に対する関心を高めてもらうことを目的に、平成24年から横手かまくらFMで市議会紹介番組の放送を行っています。また、近年はより市民参加を意識した番組づくりに力を入れています。今回は歴代のパーソナリティーの皆さんと、番組に出演したことがある高校生からメッセージをいただきました。



2代目パーソナリティー（平成24年11月～）松川藍子さんからのメッセージ

200回放送達成、おめでとうございます。「議会改革の道はエンドレスである。」取材当時、心に響いたある議員の一言です。その言葉どおり、とどまることなく、常に市民目線で議会情報を発信しつづけたことは、皆さんの情熱とご尽力の賜物だと思います。これからも議会と市政が身近になるような番組を期待しています。



初代パーソナリティー（平成24年4月～）なちっこさんからのメッセージ

最初は市議会に関する知識が全くなくて、リスナーの皆さんと一緒に議会について知っていくという意識で臨んでいました。また、番組を卒業する時に市議会の修了テストを受けたことが思い出に残っています。議員の皆さんには、これからも親しみやすい市議会を作っていってほしいですね。

横手城南高校3年・南部亜友美さん(平成28年出演)からのメッセージ

中学生の時に、かまくらFMさんの職場体験インタビューで出演しました。議員さんにインタビューする前はとても遠い存在だと感じていたのですが、実際お話をしてみると温厚で接しやすい方々だなと感じました。このような経験をしていない学生はたくさんいるので、学生と議員さんたちが話をする機会を設けていただけたらうれしいですね。



3代目パーソナリティー（平成27年11月～）佐藤実園さんからのメッセージ

議会のことなど何も分からない私がこの番組担当になったのは5年前。仕組みについてなど基本的なことから内容もスタートさせていただきました。収録を重ねて気づいたことは、議員の仕事の多さ、まちづくりへの熱意、そして議会は分かるとおもしろい！ということ。どんどん進化していく横手市議会にこれからも期待しています。

毎月第2・第4月曜日に放送しています！

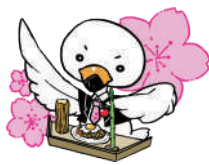
放送は午前10時40分頃から15分間で、翌火曜日の午前7時30分からは再放送もしています。今後も市民の皆さんにご出演いただくことによって、より身近に感じていただける開かれた議会を目指しますので、引き続き応援よろしくお願いします。

これまでの放送内容はこちらからお聴きください。



主な

議会の動き



7月

- 6日 FM番組収録
- 7日 総務文教常任委員会協議会、議会改革推進会議
- 9日 厚生常任委員会協議会
- 10日 産業建設常任委員会協議会、消防議員連盟研修会
- 14日 FM番組(200回記念企画)収録【P18】
- 16日 令和2年度第1回秋田市議会議長会定例会、ICTプロジェクトチーム会議
- 20日 議会だより表紙写真撮影

睦合小学校のシンボルツリーの柳の木をバックに撮影。柳の花言葉のように素直な子どもたちにたくさん出会えました。



撮影：大日向香輝議員

- 28日 FM番組収録、Y8サミット政策形成懇談会
- 29日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)、議員懇談会、総務文教常任委員会協議会
- 31日 7月臨時議会【P7】、議員懇談会、議会改革推進会議

8月

- 4日 FM番組収録
- 6日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会、総務文教常任委員会協議会
- 18日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、広報広聴委員会広報分科会、FM番組収録
- 24日 9月定例議会(～9月17日)【P2～16】
- 27日 広報広聴委員会広報分科会

9月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 議員懇談会、全員協議会(議案説明会)
- 3日 広報広聴委員会広聴分科会、ICTプロジェクトチーム会議
- 10日 総務文教常任委員会所管事務調査



災害時の避難計画の検証のため大森地域局と前田公民館の視察を行い、段ボールベッドなどの備品状況を確認してきました。

- 14日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報広聴委員会広報分科会
- 15日 全員協議会
- 24日 FM番組収録
- 25日 広報広聴委員会広報分科会、FM番組収録【P19】

10月26日放送の「もっと教えて！横手市議会」には山内小学校6年生の皆さんが出演。一般質問を傍聴した感想をお伝えします。



- 29日 広報広聴委員会広報分科会



来年度の学校統合により閉校となる十文字地域4つの小学校をシリーズでご紹介します

睦合小学校の魅力といえば、やはり一番はとて大きくて歴史のある“やなぎの木”だと思えます。私たちが入学したときには、もうすでに大きな木で、さわってみると何だか温かい感じがしました。このやなぎの木は、190年も前に、睦合の中村地区から移植されたのだそうです。そう考えると、やなぎの木は、たくさんの睦合っ子を見守って来てくれたのだと思います。

睦合小学校の魅力の1つには、学区一周駅伝もあります。この駅伝は、創立百周年を記念して、昭和50年に対抗戦の形で始められたそうです。今年で46回目となる伝統ある行事で、全校児童が4チームに分かれて睦合の全地区を走ります。走っていると家族や地域の皆さんが大声援をおくれます。警察の方々も協力してくださいませ。この駅伝は、たくさんの人々の協力があってこそできる行事だと思えます。

今年度で睦合小学校は閉校してしまいますが、睦合っ子のほこりを大切にしていきたいです。睦合小学校、今までありがとう!!



睦合小学校6年生の皆さん

編集後記

エアコンが小中学校普通教室に設置されることになりました。PTAからの要望や議会の声が届いた結果です。また、災害時の避難場所としても使用することになります。声を上げなければ環境は変わりません。令和3年度中の全校設置を目指しています。ともあれ、みんな喜んでいきます。来年の夏対策に期待です！ (土田 百合子)

◆広報広聴委員会広報分科会

分科会長 奥山 豊和 副分科会長 大日向香輝  
委員 青山 豊 土田百合子 加藤 勝義  
遠藤 忠裕 菅原亀代嗣

横手かまくらFM 77.4MHz  
もっと教えて！横手市議会

毎週第2・4月曜日 午前10時40分～  
再放送：翌火曜日 午前7時30分～

好評放送中

